

事業所名

多機能型支援事業所 はなうた

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025

9

月

25 日

法人（事業所）理念		はなうたは、「ことは」「こころ」「からだ」の発達に不安を抱えるお子さまやご家族にとつて、ほつとできる場所、そして可能性をひらく場所でありたいと願っています。どんなお子さまにも、“その子らしい育ち方”があります。できる・できないではなく、「どうすれば伝わるか」「どんな関わりが力になるか」を考えることが、私たちの支援の出発点です。専門職が連携しながら、一人ひとりに合ったアプローチで、日々の小さな変化や成長を大切にしていきます。そして何より、ご家族と同じ目線で、一緒に喜び、一緒に悩みながら歩んでいける存在でありたいと思っています。はなうたでの時間が、お子さまの未来につながるように、そんな思いを込めて、私たちは日々の支援に取り組んでいます。										
支援方針		・家庭や学校、園でのお困りごとをヒアリングし、専門職による評価をもとに療育のプログラムを作成します。 ・個々の発達の特性に合わせ個別・小集団での運動遊び、感覚遊び、ことば遊びやロールプレイなど豊かな経験を積み重ねる中で心身の発達を促します。 ・経験豊富な多職種スタッフが常駐しているため子育て全般の相談に応じられ必要な情報提供を行うことができます。										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・健康管理と情緒の安定（定期的な健康観察（体調変化の把握）、リラックス方法や感情コントロール） ・基本的な生活スキルの獲得（食事、睡眠、排泄、清潔習慣（手洗い・歯磨き）などの自立） ・安全な生活環境づくりと指導（交通安全や危険回避の理解を深める活動（遊具の使い方、火・水の危険））										
	運動・感覚	・姿勢・動作の安定化姿勢・動作の安定化（バランスボール、トンネルくぐり、平均台わたり、動的、静的バランス遊び） ・粗大、微細運動の発達支援（粗大：ボール遊び、障害物サーキット、マット運動　微細：ブロック遊び、紐通し、制作活動でのお絵描き、はさみ練習、シール張り） ・感覚統合の促進（ブランコやトランポリンで前庭感覚（バランス感覚）を刺激する。砂遊びや粘土遊びで触覚への慣れや心地よさを体験する。ボールプールやクッション遊びで固有受容感覚（体の位置感覚）を育てる）										
	認知・行動	・注意、記憶・理解力の促進（「神経衰弱」などの記憶遊び、3つ程度の運動指示理解（例：「立って、手をたたいて、座る）」、「お買い物ごっこ」で言われた品物を覚えて選ぶ） ・課題遂行力の育成（パズルや型はめ玩具を最後までやり遂げる、お片付けのルールを守って最後まで片付ける、工作（はさみーのりー貼る）など手順を踏んで完成させる） ・問題解決力の育成（ブロックで「橋を作る」「高い塔を作る」など課題を設定、迷路遊び（紙や床にテープでコースを作る）、積み木やカップを使ったバランスゲーム） ・自己調整力・行動コントロール（順番を待つ「すごろく」や「ボードゲーム」、集団での遊びでルールを守る、タイマーを使って「あと5分で片付け」「交代」を経験する）										
	言語コミュニケーション	・発声・発語の促進　・語彙の拡大　・意思表示の支援（絵カードや指差しで欲しいものを伝える、「はい・いいえ」ゲームで答える、ごっこ遊びで要求する） ・相手とのやり取り（ボールの「どうぞ・ありがとう」遊び、質問ごっこ（好きな色はなに？など）、ペアでのなぞなぞやQ&A遊び） ・構音の明瞭化（吹き戻しやシャボン玉で口の筋肉を鍛える、舌や唇の動きをまねっこする遊び、ことばカードを使って特定の音を意識して発音する） ・吃音への配慮と支援（ゆっくり話すリズム遊び、ブレスコントロールを取り入れた発声遊び、安心できる雰囲気の中で自己表現を促す）										
	人間関係社会性	・対人関係の基礎づくり（名前を呼ばれたら返事をする、「握手・タッチ」遊び、友達と一緒に歌やダンスを楽しむ） ・協調性の育成（協力してブロックを組み立てる、パラバルーンで一緒に遊ぶ、チームで玉入れやリレーをする） ・感情の理解と表現（表情カードを使って「うれしい・かなしい」を学ぶ、まねっこ遊びで気持ちを表す、気持ちを色や絵で描く） ・対人場面での適切な行動（「おはよう」「ありがとう」など挨拶練習、ごっこ遊びで社会的やりとりを体験、困ったときに大人に助けを求める練習）										
家族支援		・お子さまの発達特性支援　・養育スキル支援 ・情報提供と制度利用の支援　・保護者のメンタルサポート ・家庭と療育の連携							移行支援		・基本的な生活習慣の確立・学習の基礎準備 ・集団生活への適応・関係機関との連携・保護者支援	
地域支援・地域連携		・関係機関との連携、医療機関への情報提供 ・担当者会議への参加							職員の質の向上		・事業所内研修　・外部講師誘致　・学会参加	
主な行事等		・交通安全、防災教室　・保護者会　・工作イベント　・季節の行事　・支援学級見学会　・就学勉強会										

事業所名		多機能型支援事業所 はなうた(放課後等デイサービス)				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		10 月		1 日	
法人（事業所）理念		はなうたは、「ことば」「こころ」「からだ」の発達に不安を抱えるお子さまやご家族にとって、ほっとできる場所、そして可能性をひらく場所でありたいと願っています。どんなお子さまにも、“その子らしい育ち方”があります。できる・できないではなく、「どうすれば伝わるか」「どんな関わりが力になるか」を考えることが私たちの支援の出発点です。専門職が連携しながら、一人ひとりにあったアプローチで、日々の小さな変化や成長を大切にしていきます。そして何より、ご家族と同じ目線で、一緒に喜び、一緒に悩みながら歩んでいける存在でありたいと思っています。はなうたでの時間が、お子さまの未来につながるように、そんな思いを込めて、私たちは日々の支援に取り組んでいます。													
支援方針		・家庭や学校でのお困りごとをヒアリングし、専門職による評価をもとに療育のプログラムを作成します。 ・個々の発達の特性に合わせ個別・小集団での運動遊び、感覚遊び、ことば遊びやロールプレイなど豊かな経験を積み重ねる中で心身の発達を促します。 ・経験豊富な多職種スタッフが常駐しているため子育て全般の相談に応じられ必要な情報提供を行うことができます。													
営業時間		13 時		30 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康管理と情緒の安定（健康チェック） ・基本的な生活スキルの獲得（スケジュールや手順の視覚支援、身だしなみや清潔の確認） ・時間や空間が子どもたちに分かりやすいように生活環境の整備（目隠しや活動場所の仕切り）													
	運動・感覚	・姿勢、動作の安定化（バランスボール、トンネルくぐり、平均台わたり、鉄棒等の適切な使い方の援助） ・様々な感覚を取り入れた遊び（感覚の感じ方への配慮）													
	認知・行動	・見通しを持った自主的な行動（視覚支援を活用しておしまいや好ましい行動などの事前予告を行い、空間や時間等の概念の形成を援助） ・自己調整、行動コントロール（小集団における認知の偏りへの配慮、視覚支援）													
	言語コミュニケーション	・発声、発語の促進・語彙の拡大・意思表示の支援・相手とのやり取り（物の貸し借りでの会話、自分の思いや欲求を場面や相手の状況に応じて適切なやりとりが行えるように援助） ・構音の明確化（吹き戻しやシャボン玉での口の筋肉を鍛える、舌や唇の動きをまねっこする遊び、ことばカードを使って特定の音を意識して発音するように促す） ・吃音への配慮と支援（ゆっくりと話すリズム遊び、ブレスコントロールを取り入れた発声遊び、安心できる雰囲気の中で自己表現を促す）													
	人間関係社会性	・他者の気持ちや意図を理解し、適切な対人関係を作る（ソーシャルスキルトレーニング） ・活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて適切な行動を行う（ソーシャルスキルトレーニング、勝敗のある課題活動） ・自分の感情や気持ちを理解し、情緒の安定を図る（気持ちのコントロールや行動を認めて自尊心を高める）													
家族支援		・お子さまの発達特性支援 ・養育スキル支援 ・情報提供と制度利用の支援 ・保護者のメンタルサポート ・家庭と療育の連携						移行支援		・基本的生活習慣の確立 ・学習の基礎準備 ・集団生活への適応 ・関係機関との連携 ・保護者支援					
地域支援・地域連携		・関係機関との連携、医療機関への情報提供 ・担当者会議への参加						職員の質の向上		・事業所内研修 ・外部講師誘致 ・学会参加					
主な行事等															